

## 全14回の授業が終了

令和5年度のスタートアップセミナー自主自律のすべての回が終了いたしました。  
授業についての振返りをご報告いたします。

〈後半の授業〉

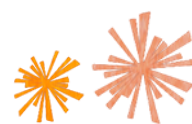
授業回数	内容
第8回	チームとして取り組む、社会問題の解決にむけたテーマの決定
第9回	異なる立場の人との対話から多様な意見や考え方を知る
第10回	発表の方向性の決定とルーブリックに沿った目標達成についての話し合い
第11回	根拠データや、提案のまとめ
第12回	発表資料の作成
第13回	各チームでの最終発表および質疑応答
第14回	振返り

協同学修を通して学生は本学の歴史を学び、社会問題について様々な視点から考え、仲間と共に議論し、傾聴する力・自分とは違った意見であったとしても互いに尊重し合意点を探す力・個々の役割を把握し遂行する力など、主体的な行動への意識が高まり、建学の精神でもある「自主自律」への大きな一歩を踏み出せたのではないかと感じます。

本科目の開講は5年目となり、様々な改善点もみえてきました。意見交換会やアンケートでいただいたご意見を真摯に受け止め、築き上げてきたものを活かしつつ、今後にむけてより質の高い授業を目指し、学生にとってこれからの学生生活、またその先を見据え社会に出ていくにあたり、新たな気づきに繋がるよう尽力してまいります。

授業担当の教員・SAのみなさまのご協力のおかげで、無事にすべての授業を終了することができました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

## 最終課題の振返りををご紹介します



### 授業を通して「身についた力」

自分の意見を持ちながらも複数の人の多様な意見・価値観を取り入れ、自分の考えに反映させて話し合いを進めていく力が身についたと思います。

人と話すことが苦手で、発表などが苦手分野でしたが、話し合いを進めていく中で、初対面の人でも自分から話を振ったり、意見を言ったりすることができるようになりました。

クリティカルシンキングを習い疑問や改善点を指摘されることによって、意見を聞き取り入れて改善していこうと思う力と、反対に指摘する時には問題点を見つける力が身につきました。

### 1年生終了までの「目標」

思考力をもっと養うことです。そのために読書や、新聞を読み語彙を増やしていきたいです。また常に疑問を考え、その解説策や適切な答えを根拠をもって考えることが必要だと思います。

もっと自分と違う価値観に触れることです。この授業で思いもよらなかった意見に出会うことも多く興味深かったので、今度は自分で色んな人と出会う機会を作っていけたらと思います。

今学んでいることと、これから何をしたいかを結び合わせることで、将来の姿を決めるということを目指したいと考えています。

# SAと教員の合同意見交換会を実施



8月1日(火)に対面とオンラインを併用させ、SAと教員の合同意見交換会を行いました。

SAと教職員22名が参加し、2時間の意見交換会を実施しました。教員とSAが混ざった、4チームでの話し合いを行い、前半は事前研修・全体の構成・授業計画やスライドについて・SAの発表などをテーマに、後半は事前事後課題・ルーブリック・manabaの使用についてなどをテーマに、良い点や継続すべき点、問題点、

今後の検討点といった視点から意見交換を行いました。

良かった点としては、クリティカルシンキングのおかげで班同士の質問がさえていたことや、SA発表が、SAにとっても自身を見つめ直す機会となり履修生も興味深く聞いていたこと、SAと教員の役割分担ができていたなどの意見が上がりました。



問題点としては、社会問題について考える際のテーマが女性問題やLGBTQに偏ってしまっていたこと、課題量の見直しが必要などの意見が上がりました。また、今後検討すべき点としては、社会パートでもジグソー法を取り入れることや、ルーブリックの活用方法について記入するだけで終わらずに今後の学修にどう

繋げていくべきかをより明確にして同時に電子化を検討すること、博物館見学の活用の充実化などの意見が上がりました。

会の最後には担当教員からSAにむけた「SAさんありがとうムービー」を放映し、視聴したSAからは「驚いたけれど嬉しかった」という声が聞かれました。

## 担当教員よりSAのみなさんへ(SAさんありがとうムービーから抜粋 (▶))



井上 宮雄 先生

SAさんのプレゼンテーション後に寄せられた履修生全員の質問や感想に、授業終了後一つひとつ丁寧に回答していただき、ありがとうございました。授業ではお世話になりました！



有馬 十三郎 先生

教員になりたいという、明確なビジョンを持っていて、履修生にとって将来を考えるきっかけになったと思います。プレゼンテーションもとても端的でわかりやすかったです。どうもありがとうございました。



梁川 悦美 先生

初めてスタートアップを担当したのですが、SAさんがいることで、とても安心感がありました。多方面にわたって活躍されている姿は履修生の目標になったと思います。心から感謝します。ありがとうございました。

「自主自律」広報誌のバックナンバーをHPに掲載しております。もしよろしければ、ぜひご確認ください！  
[スタートアップセミナー自主自律（広報誌）東京家政大学\(tokyo-kasei.ac.jp\)](http://startup@tokyo-kasei.ac.jp)

スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館1階）

TEL : 03-3961-0284 E-mail : startup@tokyo-kasei.ac.jp